

教材紹介 カードの絵を見て作業の手順と方法を読み取ろう

その1：ステンシルで夏の絵を描こう

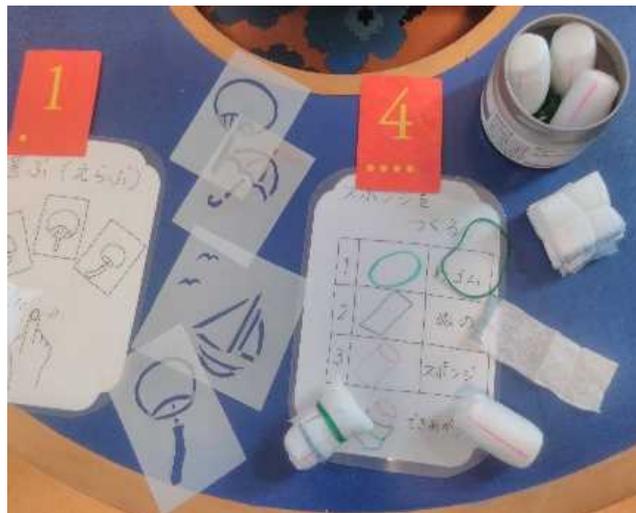
狙い・ターゲット：

- 1) 手順や企画が難しいお子さんに簡単な絵で手順を示して、作業には順番がある事を知ってもらう。  
作業の流れをカードで順に並べて手順がある事に慣れてくると、自分で作業をする際にも計画を立て、簡単な絵カードを手がかりにしながら、自分で準備をするようになるかも知れないですね。最初に完成形をみせて、手順カードを子供達に並べてもらってもいいかもしれません。
- 2) 作業手順をよく読んで、作品を完成させる。

写真①



写真②



写真③



写真④



方法

- 1) スペースの問題で置き方が今ひとつですが、1番目から6番目まで絵カードを並べます。  
カードの絵は一部ドロップスを参考にしています。(写真①)
- 2) ステンシルのシートはA4サイズ2枚100円。100円ショップで見つけました。夏なのでうちわ、ヨット、風鈴などの絵を描いて切り抜きました。絵心がある方はもっと素敵なステンシルを用意して下さいね！(写真②)
- 3) 作ったステンシルを和紙の上に置きます。和紙の方がコピー用紙よりも絵の具を吸い取るので仕上がりが綺麗です。(写真③)
- 4) 自分たちで作ったスポンジでステンシルの切れ目部分をトントン叩くように色を付けていきます。

	<p>スポンジは宅急便に同梱されている緩衝材です。布というのはここでは使い捨てのおしぼりを使っています。スポンジやおしぼりに青やピンクの色が付いているのは手順カードの色に合わせています。材料が白なので、子供達にも分かりやすいようにマジックで色を付けました。スポンジにしみこませる為の絵の具は図工用の絵の具を水でといてペットボトルのキャップに入れてあります。(写真④)</p>
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・今回の作業では、ものごとには手順がある事を知ってもらおうのと、カードを読み取って手順通りに作業を進めていくこと。そして、最終目標は何か作業をする際には自分で計画を立てたり企画出来たりすることが目的ですが、作業自体にも注意深く取り組ませて下さい。</li><li>・ステンシルは細部まで塗り残した場所が無いか探すことで細部を注意深く見る力なども付きますね。ステンシルを外した後ちゃんと絵になっていれば、塗り残しがなかった証拠。何の絵か分からないときはどこかに塗り残しがある証拠。「完成！」と言ってステンシルを外したとき、どんな絵になっているか楽しみながら行ってくださいね。</li></ul> <p>綺麗な絵ができたら、その後、ぬりえ遊びをしてもいいでしょう。</p>